



SOGIと国際移住

申 知 燕（昭和女子大学）

研究の背景

- グローバル化の進展により国際人口移動の多様化がみられている
 - ・「満足者」としての人口移動（Wolpert 1966）：個人のライフスタイルや価値観に合わせた人口移動
 - ・ストレス要因を減らすための人口移動
- しかし、SOGIに関連する国際人口移動は、現在の人口統計では捉えられない
 - ・そもそもSOGI関連の項目を統計の中に取り入れないことが多い
 - ・移住の「正式な」理由とみなされないため、移民統計からも抜け落ちる
 - ・そもそも移住のきっかけが全的にSOGIによるものとは限らないため、量的に捉えるには限界もある
- LGBTQの移動や空間に関する研究も未だ乏しい
 - ・商業施設の集積に関する研究（須崎 2019;砂川 2015など）：居住地を伴わない場合も多く、人口分布や移動との関連を見出しにくい
 - ・国際人口移動に関する研究（Gorman-Murrey 2009;Tamagawa 2019など）：主に欧米出身者やゲイ男性の事例が中心となっている

研究の目的と手法

- 本研究ではSOGIがきっかけとなった国際人口移動の現状を把握することで、性的マイノリティを取り巻く社会と空間のあり方を理解することを試みる
 - ・ 誰が、なぜ、どこに、どういう方法で移住するのか
 - ・ 移住先でLGBTQに対する環境の違いを経験して、その後のライフコースにいかなる変化が生じたか
- 研究対象と手法
 - ・ 研究対象：SOGIの関係で海外移住をしている・したことがある・準備している韓国人
 - ・ 調査期間：2018年～進行中
 - ・ 手法：スノーボール・サンプリングおよびSNS（Twitter）でインフォーマントを募集
反構造化インタビューを実施（30分～2時間）
 - ・ インフォーマント：合計12人（全員女性、20～50代）

韓国のLGBTQ事情

- 儒教的な価値観と家父長制：「正常家族」を前提
- 保守的なキリスト教の普及と政治勢力化
- 「差別禁止法」、「生活同伴者法」の制定遅延
- フェミニズム運動とトランスフォヴィア



「反同性愛」の社会



移住の動機

- 移住を決心したきっかけや、性的指向に関する自認は比較的多様である
 - ・ LGBTQに対する抑圧的な雰囲気、パートナーの存在と同性婚制度の不備、パートナーの親族からのDV
 - ・ ダブルマイノリティとしての生きづらさ：女性看護師インフォーマントの事例
 - ・ 別の理由（留学・就職等）で移住したのちに海外居住を決心（同性パートナーの存在による帰国困難）

私が愛する人なのに何もしてあげられないというのが惨めで、…恋愛する時も（軍隊勤めの）彼女には軍刑法があるので、私が会いに行くのも困ってるのではないかと…ここで自分が愛する人が性的マイノリティであるという理由だけで最悪の状況に追い込まれて、逃げ口がないほどに不幸が続く可能性があっても、守ったり手伝ったり…やってあげられる、相手に対する権利が全くないことが分かったので、外国に行くことにしました。

韓国で女性として、性的マイノリティとして生きること自体が先が見えないと思って、常に隠さなければと思うと。また、看護師という職業も、性差別的な文化が蔓延している中では良い職業とは言えなくて、…看護師の地位は女性の地位と噛み合っている部分があるんです…当時は彼女がいて、遠距離恋愛を長期間しましたが、…向こうのキャリアもあって（海外での同居は実現しませんでした）。

たまたま宝塚（歌劇団）を知って、公演を見たくて日本を来することになりました。面白いね！って（遠征を繰り返す）うちに（留学につながりました）。…女が男の特徴を絞り出して演技をする劇団なので、それを興味深いと思ってハマったので、性的指向と無関係だとは言えない気がします。

移住の動機

- 性的指向やパートナーの存在を隠し通さなければいけないことに対する不満
- 「偽りの人生を生きた」、「韓国では隠すのが当たり前だった」、「自然に話したい」

「●●ちゃんは彼氏いつ作るの」と言われつづけて、偽装彼氏を会わせたこともあって、ゲイの友だちにお願ひして（そういう状況でお互い助け合いながら）行動したこともあります。それがあまりにも当たり前で、あえて（性的指向を）他人に話す必要があるかと考えていましたが、ここ（オーストラリア）に来て考え方がだいぶ変わりました。私も自然に話したい、自分を受け入れてくれない人たちの中で生きたくない。」

「（韓国の友だちは）あまりにも隠そうとしていて、また二重生活をしななければいけないんだと考えすぎているのではないかと。…その子たちが否定的だというより、社会的な抑圧が強すぎて、知らないうちにそういう考え方になってしまうと思います。理解できます、私もそうでしたので。なぜなら怖い話じゃないですか。私がバレたらどうする？その恐怖のなかで不安を持って生きるのが普通になってしまっているから。…当事者同士でも（身バレが怖くて）隠すことが多すぎます。」

「私のいた会社は従業員数が多くて、私はよく弘大（レズビアンバーが集積している繁華街）で彼女とよくデートをしていたのですが、韓国にいた時、ある日会社に出勤したら同僚の一人が（街中で）私を見たと言ってきたのです。怖いですね、怖すぎて。あの時何したっけ、彼女とどれくらい近かったっけ、周りに誰がいたっけ、そういうのを考えなければいけませんでしたね、当時は。」

移住の動機と経路

- 移住先の選定においては複数国家の移民政策を戦略的に検討する
 - ・ 制度面：永住権や市民権の獲得可能性・獲得までの期間、配偶者（もしくはフィアンセ）ビザの有無
 - ・ キャリア面：現在のキャリアを続けられる地域、現在の職業でビザや永住権が得る国家
移住をしやすくするために学生になるケースもある
 - ・ 社会面：LGBTQにフレンドリーな雰囲気、マイノリティに対する配慮、人種差別の度合い
 - ・ 経済面はあまり影響しない
 - ・ その他：気候、趣味など

「病的に毎日検索しました。検索して、移民法を探して、移民が一番しやすい国を探してたんです。」

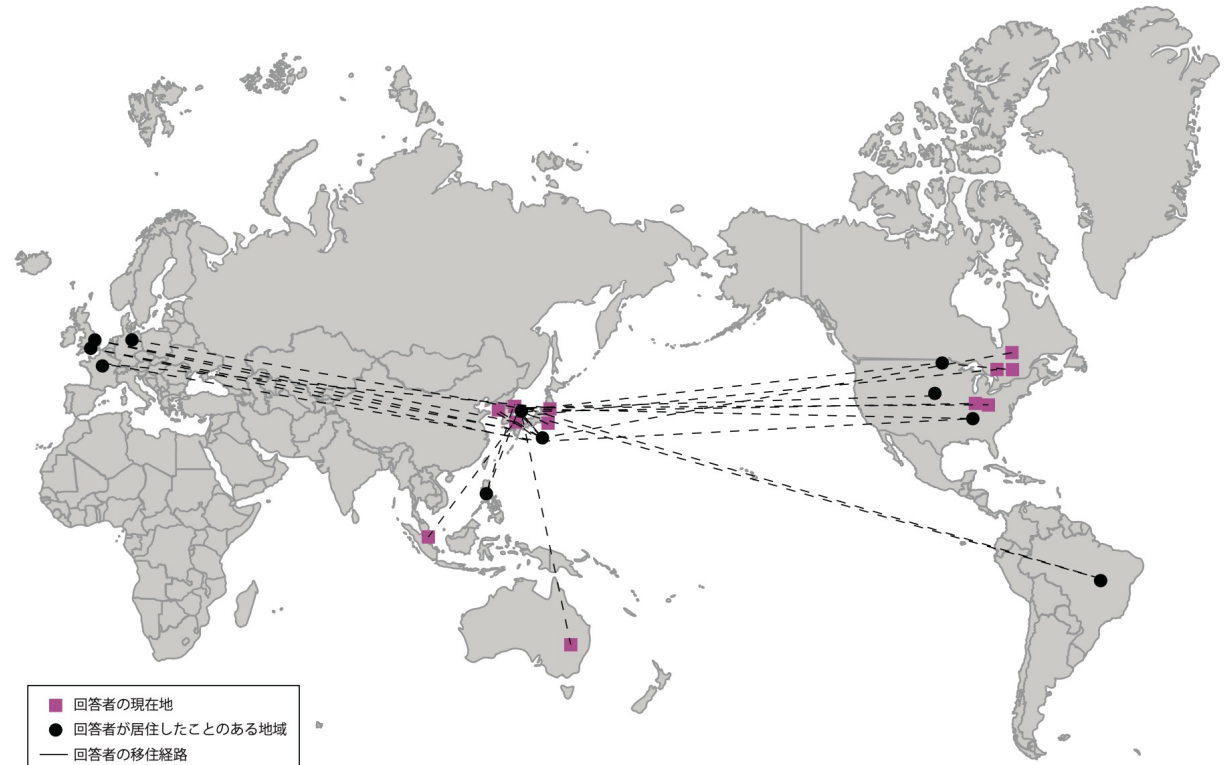
「日本はよく来てて、よく知ってたから一番楽じゃないかなと…台湾も考えていて、オーストラリアも、少し突拍子はないけど。」

「情報を手当たり次第全部集めました。周りに聞いてまわって、カナダはどうか、オーストラリアはどうかと、現地に行った人を探したり、ネット上のコミュニティに加入してチャットで知らない人に聞いたり、留学斡旋業者に相談したり、ブログにコメントで質問したり、できることは全部しました。それだけ切実でしたので。」

→経済的に裕福でなくても、学歴と専門的スキルをもとに移住できる場所を積極的に模索

インフォーマントの移住経路

- 行き先は英語圏（アメリカ・カナダ・オーストラリア）、日本、シンガポール
 - ・ 英語で生活できる国＞パートナーシップ制度のある国（経由地として検討）＞好きな国
 - ・ 2人での移住を想定するため、英語圏国家がより望ましくなる
 - ・ 移住先の「都市」は移民政策や留学先に左右されるものであり、積極的に選択できるものではない
- 将来は外国居住を希望：移住先での永住に限らず、色々な地域での居住を希望
 - ・ 韓国への帰国は「今後の変化次第」



参考文献

- 須崎成二 2019. 新宿二丁目におけるゲイ・ディストリクトの空間的特徴と存続条件. 都市地理学14: 16-27.
- 砂川秀樹.2015.『新宿二丁目の文化人類学ーゲイ・コミュニティから都市をまなざす』. 太郎次郎社エディタス.
- Gorman-Murray, A. 2009. Intimate mobilities: emotional embodiment and queer migration. *Social and Cultural Geography* 10(4): 441-460.
- Tamagawa, M. 2019. *Japanese LGBT Diasporas: Gender, Immigration policy and Diverse Experiences*. Palgrave Pivot.
- Wolpert, J. 1966. Migration as an adjustment to environmental stress. *Journal of Social Issues* 22:92-102.

ご清聴ありがとうございました